

## 西部緑地公園再整備構想検討委員会 第2回新県立野球場整備検討部会 議事録

日時： 令和4年12月22日（木）14時00分～15時30分

場所： 石川県庁 11階1101会議室

出席者： 検討委員6名、県民部長、スポーツ連携次長、スポーツ振興課長ほか

以下、意見交換の内容を記載

### 【青木部会長】

全国のスポーツ施設を研究されている小菅委員からお願いします。

### 【小菅委員】

人口減少については、全国どこの地域でも同じ傾向にあると思います。専用野球場を新設するということですので、やはり野球人口の裾野を広げる様々な取組みが必要かと思います。

ご存じのとおり、中学校の運動部活動の地域移行という話があります。そういった中で、少年野球の指導会であるとか、地域のクラブチームによる活用など、利用者の拡大策が望まれます。

また、資料の随所に高校野球の聖地と書かれています。施設コンセプトとしてはよいと思います。

人工芝か天然芝かというところに、天然芝はクッション性がすぐれており、それから夏場の気温を下げる効果があると記載がありますし、逆に人工芝は夏場にかなり高温になるということがあります。現在の人工芝はかなり改良されてきているということも事実であり、現に近くの市営の球場では2021年に人工芝化されたということでもあります。

しかしながら、この18ページの資料を見せていただきますと、人工芝はどんな形であっても、下がアスファルトとかそういう形なので、クッション性ではやはり天然芝が優位だと思います。また、最近では、人工芝の切れ端が海に流出し、マイクロプラスチックによる海洋汚染が問題になっていますので、人工芝にするならば、海洋流出を防止するための工夫が必要になると思います。また、暑さ対策ということで、ミストが噴出するなど工夫がされて製品もありますので、そのような設えが必要かと思います。

そして、天然芝か人工芝かということですが、選手ファースト、選手センタードという言葉があるとおり、これからの選手たち、足腰特に膝とかいうところに負荷をかけないためにも、個人的には、天然芝かと思います。加えて、高校野球は目指せ甲子園ということです。甲子園は現に天然芝です。トップアスリートの練習拠点であるハイパフォーマンススポーツセンターでは、オリンピック等の大会に向けて、大会で使用される鉄棒や、平行棒、床に至るまで同じ仕様の用器具を使って練習を行っています。鉄棒のしなり具合やマットの感覚など微妙な違いを体感し、本番を目指すためです。これを野球に置き換えると、甲子園での好成績を目指すなら同じような設えが有効かなと思います。

### 【青木部会長】

野球の裾野を広めるような施策を考えていく必要があるということと、それから、競技力を考えた場合、高校野球が施設整備の大きなファクターになるのであれば、やはり甲子園と同じような設えが必要なのかなと思います。これから、天然芝か人工芝かという話を進めていきたいと思いますが、唯一、プレーヤーであります松本委員からお願いします。

### 【松本委員】

女子野球は少し規格が違ってまして、人工芝のグラウンドでやる場合に、土の部分が被るか被らないかの微妙な位置だったり、おそらく、学童の方も、短いのでマウンドの位置が違ったりするので、グラウンドメイクの点で言うと、天然芝の方が自由度は高いのかなと感じています。あと他のソフトボールとか、やるときもおそらく、人工芝の場合はやはりマウンドを置いていますので、人工芝の上をスライディングするので熱くないのかなと見ていて思います。

高校野球とか取っ払ったときには、人工芝の方が運営は楽だろうなと思います。雨が降った場合でも、結構な日程を進行できるというか、雨でも試合ができるっていうのは、すごくいいと感じています。

一番使用頻度の高いその高校生たちに合わせるということは、もちろん一つ大きいウエイトを占めるのかなと感じています。

### 【青木部会長】

男性の野球に限らず、女性、それから他の競技を含めると、やはり天然芝の方が使い勝手いいのかなと思います。池田委員どうでしょうか。

### 【池田委員】

今、松本委員のおっしゃったとおりで、今年、金沢市民球場で女子学童の大会がありました。マウンドが2メートル前に出ます。そうすると、ステップした足がちょうど人工芝に関わるようなところで、シートを敷き対応しました。そういった意味では、天然芝の方が問題はありません。基本的に、選手ファーストでのプレイ環境整備ということ、コンセプトに謳うのであれば、これはもう山下アドバイザーのおっしゃる天然芝が望ましいと思います。また、個人的に天然芝が好きです。

ただ、大会運営をする立場だと、雨の中でも、運営できる人工芝もありがたいんですけども、個人的には天然芝、非常に悩ましいですが、私としては天然芝を希望します。

### 【青木部会長】

具体的に人工芝か天然芝かという話ですが、先ほどから盛んに高校野球の聖地だとありますが、そこが大きな要件であると思いますので、高校生を指導されている村戸委員いかがでしょうか。

### 【村戸委員】

やはり選手ファーストの部分からいくと天然芝。我々、高野連として試合運営をしていく方からすると、人工芝になります。ただ天然芝の場合も、きちっと整備されてないといけない。ガタガタのところ、試合しても、選手のためにならないので、高野連の中でも野球場整備の話をしたときに、きちっとした整備が必要。甲子園の場合、阪神園芸がものすごい形で整備していますし、土の部分も、雨が降っているようなところで、この土の部分が全部覆い被さるようなシートを持っていて、しっかりそういう部分を整備、カバーすること、天然芝であるならばきちっと整備する会社というか、そういったところもきちっと考えていかなきゃいけないなというふうに思いますし、ただ、やはり天然芝の方がいいのかなあというけど、障害者の方とか車椅子の方とかいうことを考えたときに土のブランドだとどうなのかなあということは危惧されるのかなあと思います。

### 【青木部会長】

障害者の方が実際に球場の中に入られると、天然芝はどうかと話がありましたけれども、その点は田中委員  
どうですか。

#### 【田中委員】

車いす側からいうと、天然芝でも人工芝でもあんまり変わらない。

やはり最初から言っている選手ファーストで、天然芝の方がいいんじゃないかなと思います。

私はどっちかという、最近、サッカーのワールドカップがあって、非常にサッカー人気があれただけで、  
私自身はどっちかというサッカーよりは、野球が好きなもので、やはり県の野球場は立派なものにしたいと思  
います。

#### 【青木部会長】

今のお話を集約すると、選手ファーストという点から天然芝をご検討いただいた方がよろしいのではないかと  
いうことであります。県民の皆さんからのアンケートでも、やはり選手ファースト、プレー環境は重要である  
というご意見が多くを占めております。また、さきほど山下アドバイザーからの意見もあり、これは私個人の感想  
ですが、土の部分を整備する、選手の育成に資するといえますか、選手をどう育てていくかというところで、教  
育的などころに非常に関わってくるという話をお聞きして、なるほどと思いました。そういった部分で集約で  
きるのではないかと思います。

ただ、今、村戸委員から整備というご意見もいただきましたので、18 ページを見ますと、概算は 30 年で算出  
し、このような形だというようなございますので、維持管理費の中で、当然そういう整備も含まれていると思  
いますので、その辺のところを考慮しますと、それほど大きな障害にはならないと思います。

次に、田中委員からもありましたが、規模感、観客席について、その辺のところはいかがでしょうか。

#### 【田中委員】

座席の数で 3 万人などでありますが、14 頁の人口割合をみると、倉敷マスカットスタジアムなんか 47 万で 3  
万人、新潟も 77 万 9 千で 3 万ということになってはいますが、多分、新潟も平成の大合併でこ 70 万ぐらいになっ  
たと思います。金沢市は合併しなくて、これ 45 万くらいです。多分電話番号でいうと 076 地域。白山、金沢、河  
北とかその辺まで来ると、多分 70 万人ぐらいいると思う。だからやはり、新潟のような、規模の方がいいんじ  
ゃないかなと思います。

#### 【青木部会長】

私から、一つ質問してよろしいでしょうか。そういうデータをお持ちかどうかはちょっとわかりませんが、例  
えばここで、3 万人、2 万 4000 とか 2 万 5000 とかありますが、最近は何万人なのか、人口比で書いてありま  
すけれども、整備年で考えると、最近は何万人が主流ですかデータはお持ちですか。

#### 【岩浜課長補佐】

13 ページをお開きいただきたいんですが、これ整備年別で記載をしております。実はこういった県を代表する  
ような野球場につきましては、直近では、再整備という例が少なく、書いてあるとおりハードオフエコスタジ  
アム新潟が県を代表するレベルの球場の更新ということでいうと直近ということになります。今、岩手県の方で

整備をしているというところをごさいますて、こういった整備の傾向といいますと、それほど多く作られる施設ではないですから、こういった傾向ですっていうほど例があんまりないという実態でございます。

### 【青木部会長】

ということで、人口比というような考え方で整理していると、今、田中委員から、3万人規模を超えるような球場が、これから夢を与えていくのではないかとということです。他の委員の方はどうでしょうか。

### 【池田委員】

正直、3万人でも2万5000人でもいいのかなと思います。それで3万規模と2万5000規模になった時に、お金がどれぐらいの違いが出るのかってというのはわかりませんが、それよりも、座席からずれるかもしれませんけど、スコアボードの導入イメージ21ページ、正直、ロッカーが大リーグ仕様だとすごくモチベーション上がるという話がありましたが、スコアボードに選手名が表示されることは、選手の気持ちを上げるには、すごい重要な要素です。一体型ぐらいのもので、選手名の名前がでるだけで、モチベーションがあがります。

実は、その軟式野球、今年、石川県代表の中条ブルーインパルスという学童野球チームが、全国優勝しまして、全日本学童軟式野球のスポンサーがマクドナルドですが、マクドナルド側から、全軟連に対して、全国持ち回りをやって欲しいと、東京でずっと今までやっていたのが、全国持ち回りになります。北信越は、どこであるかという、新潟のハードオフ、これは、オーロラビジョンがあそこにあるというのは、理由の一つです。ですから、新しい県立野球場も、本当にこの一体型のビジョンを作ると、次の北信越の時は石川も手を挙げられる。そういったことにも繋がりますから、プロ野球のことを考えると、2万5000でも3万でも入ります。普段我々がやっている軟式野球ですと、要するにそんな大きな大きな座席数はいらなくて、こういう付帯設備のスコアボードをやってもらえた方が、選手の気持ち上げるなと感じております。

### 【青木部会長】

観客数だけではなくて、付帯設備をあわせて考える必要があるというご意見がありました。

その辺は、多く施設を見ていらっしゃる小菅委員どうでしょうか。

### 【小菅委員】

座席数と座席の幅は連動する関係にあるわけですが、各地の施設を見て、もう少し座席の幅にゆとりが欲しいなと思っています。そして、おもてなしコーナーというか、ハイプライスであっても快適に座りたいとかいう要望もあろうかと思しますので、そういう設えも必要なのかなと思っています。

また、スコアボードの話が出ましたが、県代表の甲子園出場校など、現地に応援に行けない方々に、パブリックビューイングなど開催できたならば、甲子園で戦っているチームの応援ができますし、野球人口の広がり、収入増などに寄与するのかなと思います。そのためには、コストは掛かるが大型電光掲示板、ビジョンカメラなどが必要になってくるだろうと思います。

### 【青木部会長】

松本委員はいかがでしょうか。

### 【松本委員】

シンプルに思っていたのは、座席の数を増やして球場が大きくなった時に、下のところも一緒に広がるのかということを考えていました。室内練習場が広くなればいいなとしか考えていなくて、座席が増えても下の面積は変わらないなら、そんなに大きくしなくても、お金かけなくてもいいみたいなふうに思っています。確かに座席の広さは、大きい方が横に来ちゃうと窮屈で、ちょっと気まずいとは思いますが。

あと確かにオーロラビジョンに名前が載ることは、テンションが上がります。あるのに出してくれないところがあって、出せるのに出さない大会とかちょっと印象が悪い。そうやってあげたら選手はすごく喜ぶなあっていうふうには思います。

### 【村戸委員】

観客数という面からいくと、星稜が夏の大会で準優勝した年の県大会の決勝戦。超満員で、県立が溢れるぐらいの人でした。実際の人数は、しっかり把握していませんが、おそらく1万5000人以上、2万人近く、会場に足を運ばれたんだろうなと思います。そういう実績から考えると、やはり2万人以上の観客席は、高野連としての方針だというふうに思います。

先ほど松本委員の方からありましたが、イメージを見ればやっぱり下の部分も、非常に増えてくると思いますが、座席数があるとやはり1階席、2階席、3階席というような形になってきたときに、上の方に報道ブースができたり、記者席ができたり、高野連の方としてはその辺りのところもちょっと、要望が必要なところだなというふうに思いますが、テレビ中継用のブース、記者席、そういうものを座席数が増えれば、いろんな付帯設備も、いろいろ面積、体積が増えてくるので、設備が充実してくるのかな、室内練習場も広がってくるのかなというふうに思いますので、最低2万。2万5千から3万があればいいなと思います。

### 【青木部会長】

皆様のご意見を伺っておりますとものわかりがいいというか、なんていうか、もう3万にして付帯設備をしっかりしようというような、いくらかかってもやれというなと思ったならば、そうではなく、県の財政などを考えると、というようなご意見の中で、席数はもちろんですが、席数よりも最優先すべきなことは、付帯設備というか、もちろん選手ファーストであるけれども、観客に対しても配慮するというような造りであって欲しいという、また、当然室内練習場なども含めて、そういう設備であって欲しいというご意見が多かったと思います。できれば、3万人を目指して、2万5000から3万ぐらいの規模の中で、考えていただいて、それよりも、設備について、やはりしっかりしたものを造って欲しいというようなそのような考え方で、ここはまとめてよろしいでしょうか。

その他に、このユニバーサルデザインとか、熱中症だとか、それからもう一つ、賑わいとかありますが、これについては、まとめていただいている事務方には申し訳ないんですが、これからだと思いますので、今ここで議論を交わすような、まだ提案には至っていないかなという思いがございます。ですので、こういうような付帯設備、それから障害者への配慮、賑わいという対策は、各委員からお持ちの意見をいただくという形で次までの課題にしたいと思います。田中委員からユニバーサルデザインの方について、前回もお伺いしましたけど、どうでしょうか。

### 【田中委員】

最近のスポーツ施設の多目的トイレというものが、みんなのトイレ化になりまして、例えば前も言ったように機能の分散化というか、そのようにしていただければと思います。

日本総研さんから連絡がありまして、来月、県の社会福祉会館で、関係団体を集めて、ヒアリングをすること、そこでも多分、私以外にもいろんな車椅子の目線のいろんな意見が出てくると思います。

### 【青木部会長】

今までをいただいていたのは、ロッカールームのこと、それからスコアボードとこ、それから室内練習場の充実についてご意見いただきましたが、その他、選手の立場からどうでしょうか。

### 【松本委員】

正直なところ、こんな素敵なおところでプレーすることがなかなかなくて、地方のグラウンドでしかやらないので、そういったことは無頓着なんですけど、前日も言ったように、ロッカールームが綺麗だとかいいとか、東京ドームにいったときは、シートがすごい綺麗で、そういう施設が整っているところはすごいと思います。神宮は、ダグアウトまで入っていくのがとても大変で、どこから出るのかわからないので、そういったことがなく、それこそ車いすの方はどうやっていくのかわからないくらいなので、色んな意味でフリーになればと思います。例えば、プロ野球がきたときに、一般の方々が、グラウンドへ入れるようにすると、いろんな意味でオープンでいい球場になるのかなと思っています。

### 【青木部会長】

全国の球場で、これは面白いなと思った施設等があればお願いします。

### 【小菅委員】

第3期スポーツ計画でも、ユニバーサルデザイン化の推進が謳われています。バリアフリー化の上位概念であるユニバーサルデザイン化は、あらゆる施設に必須要件ではありますが、既存施設を改修するには経費も掛かります。したがって、新施設においては設計段階からその考え方を盛り込んでおくことが重要かと思います。選手側の視点から、顧客側の視点から、それ以外の訪問者の視点からも様々な障壁が排除された施設であることが望まれます。

### 【青木部会長】

付帯設備ってというようなことで、お話を伺ってまいりましたが、動線をやはりしっかりと整えるということがご意見としてあった。それから、ユニバーサルデザイン化は非常に難しいということ、確かにバリアフリーという観点だけではなくて健常者の人にも、道案内一つとってもわかりやすいような、そういう施策を含めて、多分ユニバーサルデザイン化ということだと思いますので、その辺含めて、次回ご提案いただければと思います。

最後に、11ページをご覧いただきたいのですが、今のご意見を伺いますと、高校生も含めた、そういう野球愛好家や子供たちが、ピンクの部分のコンセプトを読んで、そういう憧れの聖地にしていきたいという。おおよそ、今のお話を伺って言うと、異論はないという気がいたします。

もう一つですね、ここに年齢、最後に皆さんご意見いただきましたが年齢、性別、障害の有無にかかわらず、賑わいの拠点としていきたいと、これについても異論はないのかなと思います。ただ、この言葉を集約して、に

ぎわいの拠点となるという言葉がいいのかどうか。一つ、ひっかかる方がいらっしゃるかもしれないが、こういう上の、誰もが楽しめるにぎわいを生み出す野球場っていうようなこういうような意味を含め、にぎわいの拠点となるただ人が集まってくるっていうだけではなくて、こういう方々にも配慮したというようにすると。というようなことが、このにぎわいの拠点という言葉で集約したということでご理解をいただきたいと思います。

これは大事な、今、皆さんにこういろいろお聞きしたことの、いわゆる考え方に全部になっていくと思いますので、その辺はそういうような考え方でよろしいかどうか、いかがでしょうか。では、この野球場の整備コンセプトとしては、やはり、この文言をやっぱりしっかり把握して、子供たちの夢と希望を与え、にぎわいの拠点となる野球場を整備していくというようなことで、みなさんに合意をいただいて、まとめたいと思います。

ある程度、今日は時間もまいりましたので、この程度にさせていただきたいと思いますが、みなさんから何かございますか。

#### **【田中委員】**

今、野球場の整備ということですが、周りの駐車場整備は一体であるということですか。駐車場からのアクセスも含めてちょっとユニバーサル化と考えていただきたい。

#### **【青木部会長】**

西部緑地公園の構想のところに、代表として参加させていただいていますので、今の田中委員のお話を私から西部緑地公園の全体の会議の中でお伝えをして、それも含む野球場、それから、産業展示館もすべてそうだと思いますが、駐車場からのアクセスについては、やはりユニバーサル化をしっかり検討するというので、お話しさせていただきたいと思います。

#### **【小菅委員】**

野球場の大きさの件で、日本ハムの新球場の話が報道されていました。米国の公式規則だと推奨とされているが、日本の野球規則だと必要とすると解釈されているようです。新設球場に関しては、現行規則を満たすことが前提になってると理解していますがよろしいでしょうか。

#### **【青木部会長】**

もちろんです。その点については、一番最初に村戸委員の方からフェールグラウンドの問題やっつけられました。それは今広すぎると言うけれども、それが本当に、どうするのかという検討もしながら、今、皆さんのお話の中では2万5000から3万の中で、それよりも設備を充実しろというようなご意見でございました。それを踏まえて当然ルール通りが当たり前の話ですけれども、大きいのか小さいのかということを含め、もう少し、ご検討いただければと思います。

それでは、このような形で、今日の議論が集約されたというようなことで、私から事務局の方へお返しいたします。

#### **【岩浜課長補佐】**

それでは、これもちまして西部緑地公園再整備構想検討委員会第2回新県立野球場整備検討部会を閉会させていただきます。皆様大変お忙しい中ご議論ありがとうございました。